

報道関係各位 企画展のご案内

大伴家持生誕1300年記念企画展

見 発 持 家

響き合う
詩歌と
絵画



石竹花が花見ごとに 少女らが 笑まひのほひ 思ほゆるかも — 大伴家持

森田りえ子「撫子」(奈良県立万葉文化館蔵)

平成31年 3月17日(日)～5月13日(月) ※4月17日(水)から
展示作品の一部を入れ替えます。

開館時間／午前9時30分～午後6時(観覧受付は午後5時30分まで) 休館日／毎週火曜日 ※4月30日(火)は開館します。

観覧料／一般500円(400円)、大学生250円(200円)

※()内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催／高志の国文学館 特別協力／奈良県立万葉文化館 協力／高岡市万葉歴史館

共催／北日本新聞社 後援／富山新聞社、読売新聞北陸支社、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

高志の国
文学館
KOSHINOKUNI
Museum of Literature

1 展覧会ポスター

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 中田・中松・綿引
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

Summary

大伴家持生誕 1300 年記念企画展（全 3 回）の最後を飾る本展では、絵画と交響する名歌の世界に皆様をご案内します。

現代を代表する日本画家・洋画家が家持の歌をモチーフに描いた絵画の数々は、画家たちが家持の歌をどうとらえたのかを語りかけてきます。本展では、これらの絵画を、モチーフとなった歌にこめた家持のころの動きに沿ってご紹介します。家持の歌のころを叙情性豊かに表現した絵画との対話を通じて、あらためて家持の歌の魅力が見えてくることでしょうか。絵画を入口に、家持の歌の世界に想いを馳せてみませんか。

「三十六歌仙」の一人として描かれた家持像を含め、画家たちの想像力あふれる名画を通じて、新たな家持と出会えるまたとない機会となるはずです。

大伴家持 おおとものやかもち (718~806)

1300 年もの長い間、読み継がれてきた『万葉集』。そこには自然をうたった歌から、家族や友人への思いやりや恋人への情愛がこめられた歌など、人々の想いが生き生きと伝わってくる歌が約 4500 首収められています。

『万葉集』の代表的な歌人の一人である大伴家持は、天平 18 年 (746)、現在の富山県にあたる越中国に国守として赴任し、天平勝宝 3 年 (751) に帰京するまでに 223 首の歌を詠みました。

『万葉集』を、今ある全 20 巻の形に編纂したのは大伴家持であると考えられています。家持は、越中時代に詠んだ歌を含め、『万葉集』の中に、歌人の中で最も多い 473 首の歌を残しました。

Outline

展覧会名	大伴家持生誕 1300 年記念企画展 家持発見一響き合う詩歌と絵画		
会 期	2019 年 (平成 31 年) 3 月 17 日 (日) ~ 5 月 13 日 (月)		
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490 http://koshibun.jp		
開館時間	9 : 30 ~ 18 : 00 (観覧受付は 17 : 30 まで)		
休 館 日	毎週火曜日 ※4 月 20 日は開館		
観 覧 料	一般 500 円 (400 円)、大学生 250 円 (200 円) ※ () 内は 20 人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。		
主 催	高志の国文学館	共 催	北日本新聞社
特別協力	奈良県立万葉文化館	協 力	高岡市万葉歴史館
後 援	富山新聞社、読売新聞社北陸支店、NHK 富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送 チューリップテレビ		
展覧会担当	高志の国文学館事業課 主任 (学芸員) 綿引 香織 (わたひき かおり)		

Theme

〔企画展示室〕

①第 1 章 自然を見つめる一風土と花鳥

大島秀信「早月川より劔立山を望む」(当館蔵)、^{しもだよしひる}下田義寛「朝霧」(奈良県立万葉文化館蔵) など 14 点を展示

②第 2 章 心を見つめる一恋と悲しみ

森田りえ子「^{なでしこ}撫子」(奈良県立万葉文化館蔵)、中島^{ちなみ}千波「散りのまがひ」(奈良県立万葉文化館蔵) など 7 点を展示。

③第3章 時代を見つめる—乱世と平和

大山忠^{ちゆうさく}作「大伴家持」(奈良県立万葉文化館蔵)、上村松^{うえむらしようこう}篁^{しゆんしゆう}「春愁」(奈良県立万葉文化館蔵)など6点を展示

④三十六歌仙展示コーナー

『三十六人歌合』(当館蔵)、浮田一蕙『三十六歌仙画帖』(高岡市万葉歴史館蔵)など9点を展示

〔導入展示〕

①特設コーナー「親子で楽しむ はじめての越中万葉」

絵本『春の苑 紅にほふ—はじめての越中万葉』佐竹美保挿絵原画パネルの展示、クイズコーナー、ピーエーワークス制作アニメ「マイの越中万葉体験記」の上映

②高校生による大伴家持の歌の揮毫作品(富山県立富山いずみ高校)の展示など

Topics

- 1 奈良県立万葉文化館と高志の国文学館が所蔵する、現代を代表する日本画家・洋画家による家持の歌のこころを叙情性豊かに表現した絵画27点(日本画26点、洋画1点)を展示。絵画を通じて、家持の歌の魅力を紹介。4月17日に一部展示替えを実施。絵画のほか、家持像、万葉衣装、冊子など、約60点を展示。
- 2 当館の新収蔵資料「三十六人歌合」(17~18世紀制作)を初公開。これは、藤原公任^{ふじわらのきんとう}編『三十六人撰^{せん}』に選ばれた平安中期までの歌人36人の姿絵に和歌を1首ずつ書き添え、1冊の画帖に仕立てたもの。家持を含む三十六歌仙がそろっており、絵・書の作者は不明ながら、丁寧に描かれた作品で見ごたえがある。
- 3 小学生が楽しみながら大伴家持を学べる「親子で楽しむ はじめての越中万葉」のコーナーを設け、「きみも大伴家持博士!クイズコーナー」や佐竹美保氏絵本の原画パネル展示などを実施。クイズ参加者には、オリジナル記念品を贈呈。
- 4 県下の小学生に、学校を通じてチャレンジワークシートを配布。ワークシートを持参した小学生には、ポストカードを贈呈。ワークシートは文学館にも設置。
- 5 期間中には勾玉や和同開珎^{わどうかいちん}づくり、万葉仮名を書くなどの体験型のワークショップを実施。

Events

(1) 開館記念 スペシャル対談

森田りえ子氏(日本画家)・中西進(高志の国文学館館長)

〔テーマ〕「詩歌と絵画」

〔日時〕3月17日(日)11:00~12:00(開会式終了後)

〔会場〕研修室101

参加無料/申込必要 定員/72名

(2) 特別記念講演

〔テーマ〕「詩歌と絵画の交響—絵画に見る日本人の心」

〔講師〕高階秀爾氏(大原美術館館長)

〔日時〕4月14日(日)14:00~15:30

〔会場〕富山県総合福祉会館 サンシップとやま福祉ホール

参加無料/申込必要 定員/300名

(3) 関連講座 ①

[テーマ]「家持における景の詠出」
 [講師] 菊地義裕氏 (東洋大学教授)
 [日時] 5月5日 (日・祝) 14:00~15:30
 [会場] 研修室 101
参加無料／申込必要 定員／72名

(4) 関連講座 ②

[テーマ]「現代日本画—うすれゆく文学性のはざままで」
 [講師] 草薙奈津子氏 (平塚市美術館館長)
 [日時] 5月11日 (土) 14:00~15:30
 [会場] 研修室 101
参加無料／申込必要 定員／72名

(5) <ワークショップ> ^{まがたま} 勾玉を作ろう

[日時] ①3月24日 (日) ②4月28日 (日)
 各日一回目 14:00~/二回目 15:00~ *一回の作業時間は60分程度。
 *一回の作業時間60分程度です。
 [会場] 研修室 101
材料費 300円／申込必要 定員／各回 20名

(6) <ワークショップ> ^{わどうかいちん} 和同開珎を作ろう

[日時] 5月6日 (月・祝) 14:00~15:50 *一回の作業時間は30分程度。
 [会場] 研修室 101
参加無料／申込不要 定員／各回 20名

(7) <ワークショップ> 万葉仮名を書いてみよう

[日時] 4月28日 (日) ~ 5月6日 (月・祝) 各日 9:30~17:30
 [会場] 企画展示室入口前
参加無料／申込不要

(8) 万葉衣装を着てみよう

[日時] 5月3日 (金・祝)、5月4日 (土・祝) 各日 9:30~16:00
 [会場] 研修室 101
参加無料／申込不要 協力／高岡万葉まつり実行委員会

(9) 担当学芸員による展示解説

イベント(2)~(4)の終了後に行います。(30分程度)
要観覧券／申込不要

■ 申込方法

電話・FAXにて、イベント名と番号1~5 (番号5は希望日時も)、氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第募集を終了します。

※FAXの場合、定員に達し、ご参加いただけない場合のみ当館からご連絡いたします。

Highlight

■主な出展作品 (括弧内は所蔵先)

●万葉絵画

上村松篁「春愁」(奈良県立万葉文化館)、中島千波「散りのまがひ」(奈良県立万葉文化館)、
下田義寛「朝霧」(奈良県立万葉文化館)、松岡政信「あぶら火の」(奈良県立万葉文化館)、
森田りえ子「撫子」(奈良県立万葉文化館、チラシ表紙画)、大島秀信「早月川より劔立山を望む」
(高志の国文学館)、藤森兼明「紅にほふ少女らし」(高志の国文学館)、郷倉和子「ふるさとの万葉」
(高志の国文学館) ほか

●新収蔵資料

「三十六人歌合」

Images



2 「春愁」上村松篁 1998年
(奈良県立万葉文化館蔵)



3 「朝霧」下田義寛 1999年
(奈良県立万葉文化館蔵)



4 「早月川より劔立山を望む」
大島秀信 2012年 (高志の国文学館蔵)



5 「撫子」森田りえ子 1999年
(奈良県立万葉文化館蔵)



6 「あぶら火の」松岡政信 1998年
(奈良県立万葉文化館蔵)

高志の国文学館企画展「家持発見一響き合う詩歌と絵画」 広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行
FAX 076-431-5490

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上で掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。
- ◎掲載に当たっては、作者名、作品名、所蔵者名を併記してください。
- ◎掲載後、記事またはOA映像を担当者までお送りください。

御社名 : _____

御担当者名 : _____

E-mail アドレス : _____

電話 : _____ FAX : _____

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : _____

発行・放映・掲載予定日 : _____

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 展覧会ポスター
- 画像 2 「春愁」上村松篁 1998 年（奈良県立万葉文化館蔵）
- 画像 3 「朝霧」下田義寛 1999 年（奈良県立万葉文化館蔵）
- 画像 4 「早月川より劔立山を望む」大島秀信 2012 年（高志の国文学館蔵）
- 画像 5 「撫子」森田りえ子 1999 年（奈良県立万葉文化館蔵）
- 画像 6 「あぶら火の」松岡正信 1998 年（奈良県立万葉文化館蔵）